

バイト求人情報発信

動画多用 職場の雰囲気紹介

松山大生が起業サイト立ち上げ

学生による起業の動きが県内でもみられる中、松山の学生が2014年10月に設立した合同会社クレパス（松山市）は今年8月、動画を多用したアルバイト求人サイト「jobclip」を立ち上げた。文字だけでは伝わらない働く人の様子や職場の雰囲気などを紹介。10月には、中四国の求人誌・フリーペーパー大手のKG情報（岡山市）と共同で若年層への求人情報配信事業も始めており、ク社代表の松山大2年山崎友雅さん（19）は「中四国展開も視野に入りたい」と意気込む。



雇用ミスマッチ解消へ 大手と配信事業も

ク社は代表の山崎さんを愛媛大4年岡大夢さん（22）がサポートする「job」は、人間関係が原因でアルバイトを辞めたという友人の相談をきっかけに、時給などを紹介するだけでなく、より仕事の内容が伝わるよう働いている人に動画

で職場を紹介してもらおうと着想。動画作成に関心があつた岡さんが撮影から編集まで手掛けた。10件（10月14日時点）を掲載している。

松山市三番町2丁目の飲食店「さかなや道場 松山三番町店」の山本秀雄営業部長（46）は、スマートフォンで手軽に見られる点や動画の質の高さを評価。職場の雰囲気や内容が伝わるのでも期待し、同市三番町3丁目の飲食店「夢の家HANA RE」の尾形俊輔店長（23）は「同世代を応援したい」と思ったと率直に語る。実際の料理も登場し、店の雰囲気も伝わることから集客効果も見込む。

山崎さんによると、会社は10月中旬に株式会社化する予定。KG情報との共同情報配信は、求人のほかの同社の幅広い顧客にP

より掲載数を増やしていこうと話し合う山崎友雅代表（右）と岡大夢さん



Rする狙いで、課題の認知度の低さをカバーしたいと考えた。

山崎さんは5月、伊予銀行主催のビジネスプランコンテストで、地元学生を紹介するサイトを提案し、奨励賞を受賞。身近な学生を取り上げて若い人への訴求力を持つなど狙いが明確だった点や、起業への思いの強さが評価された。

こうした地方での学生による起業について、伊予銀のソリューション営業部は「面白い発想が多く、首都圏と比べ競合が少ないため先駆者になれるチャンスがある」と分析。就職以外で社会へ出る選択肢の一つになりつつあるともみている。

一方でイメージ先行でなく、数字やビジネスとしての成否をきちんと押さえている学生が少ない点を今後の課題として挙げている。

（金尾公貴）